



## 1. シオヤトンボ (トンボ科)

- ・4~7月 ・大きさ40~46mm
- ・平地からきゅうりょう地のしつ地や田んぼで見られる。

4月に入ると一番にあらわれるトンボ。

田んぼのあぜなどにはりついてとまる。

オスは体に水色のこなをふく。

メスの体はおうど色でおなかの横に黒いすじがある。

わかいオスは、体の色がメスになて、くべつにくい。



## 2. シオカラトンボ (トンボ科)

- ・5~11月 ・大きさ47~61mm
- ・平地からひくい山地の池、ぬま、川、田んぼなど。

全国でもっともふつうに見られるトンボの一つ。

目は水色で、オスは体に水色のこなをふく。

メスの体はおうど色で、ムギワラトンボとも言われる。

オスもメスもおしりの先が黒い。メスがたまごをうむとき、オスはまわりをとんでメスを守る。



## 3. コシアキトンボ

(トンボ科)

- ・6~9月・大きさ42~48mm
- ・平地から山地の木かげのある池、ぬまやゆるやかな流れ。

こしに白いおびがある黒いトンボ。オスのおびは、はじめ黄色いがだんだん白くなる。メスのはねの先には黒い斑がある。



## 4. オオシオカラトンボ (トンボ科)

- ・6~11月 ・大きさ49~61mm
- ・平地からひくい山地の池、ぬま、しつ地、田んぼ

オスもメスもシオヤトンボやシオカラトンボになてているが、目は茶色でオスはシオヤトンボやシオカラトンボより体が青い。メスは、おなかに黒いたてのすじがないので、くべつできる。名前にオオとつくが、シオカラトンボと大きさはほとんどかわらない。



## 5. ショウジョウトンボ (トンボ科)

- ・5~10月 ・大きさ41~55mm
- ・平地からきゅうりょう地の池、ぬま、しつ地、田んぼ

オスははじめはメスと同じオレンジ色だが、頭からおしりの先までまっ赤になる。メスは赤くならずオレンジ色のままで、はねが金色に光りとても美しい。

オスは夏のころから赤いので、赤トンボとはよばない。

※秋に赤くなるとんぼのことを赤トンボという。



## 6. ウスバキトンボ

(トンボ科)

- ・6~10月・大きさ44~54mm
- ・平地からきゅうりょう地の池、ぬま、しつ地、プール、公園の芝生上で多く見られる。

夏のはじめごろ、南からとんできて、せだい(たまご→ようちゅう→せいちゅう)をくり返し北へ長い旅をするトンボ。



## 7. ハラビロトンボ

(トンボ科)

- ・6~8月・大きさ33~42mm
- ・平地からひくい山地の池、ぬま、しつ地など

おなかがひらべったいトンボ。オスの目とむねは黒く、おなかには青白いこなをふく。メスは体全体が黄色い。わかいオスは、メスと同じような色をしている。

## 8. アオイトトンボ

(アオイトトンボ科)

- ・5~9月・大きさ34~48mm
- ・平地から山地の池、ぬま、しつ地など

オスは、むねとおしりの先に青白いこなをふく。はねを半開きにしてとまるのが、アオイトトンボのなかまのとくちょう。

## 9. オオアオイトトンボ

(アオイトトンボ科)

- ・6~11月・大きさ40~55mm
- ・平地から山地の木々にかこまれた池、ぬま、しつ地など

アオイトトンボのなかまでは、もっとも大きい。アオイトトンボににるが、むねに白いこなをふかない。

## 10. アジアイトトンボ

(イトトンボ科)

- ・5~10月・大きさ24~34mm
- ・平地から山地の池、ぬま、しつ地、川など

イトトンボの中でも、小さくか細い。若いメスは赤く他のトンボのように見えるが、たまごをうむころにはうすい緑色になる。

## 11. ハグロトンボ

(カワトンボ科)

- ・6~10月・大きさ57~68mm
- ・平地からきゅうりょう地の流れのゆるい川など

オスのおなかは緑色にかがやく。羽化してしばらくは、暗い林やヤブですごし、たまごをうむころにみずべにもどってくる。

## 最強の空中ハンター オニヤンマ

こんちゅう

ひこう

オニヤンマの顔



トンボは昆虫の中でも飛行の名人！

4枚のはねをじょうずに動かして、滑空飛行に急停止・急旋回、空中でとまるホバリングなど飛行技、飛ぶスピードもピカイチ。

日本で一番大きなオニヤンマは、飛んでいるオオスズメバチをもつかまえて食べてしまいます。

左右に開く大きなあごで固い殻も細かくかみくできます。

自由自在に飛ぶ力と強いあごをもつオニヤンマは、まさに最強の空中ハンターです。



## 12. オニヤンマ (オニヤンマ科)

- ・6~10月・大きさ82~114mm
- ・平地から山地の木々にかこまれた池、ぬま、しつ地など

黒い体に黄色のしまもよう、緑色の目がとくちょう。ようちゅう(ヤゴ)の期間は長く3~4年。



## 13. コオニヤンマ

(サナエトンボ科)

- ・5~9月・大きさ75~93mm
- ・きゅうりょう地のまわりに木々のある川など

オニヤンマににるが、体にくらべて頭が小さく、目と目の間がはなれている。



## 14. ギンヤンマ (ヤンマ科)

- ・5~10月・大きさ65~84mm
- ・平地から山地のひらけた池、ぬま、川など

オスのおなかのつけ根は水色でメスは黄緑色。クロスジギンヤンマはむねに黒いすじがある。